

3Rアドバイザー事業

※対象事業者：✓オフィス・商業施設（病院や学校での実績もあり）
✓ 再利用計画書の提出事業者

廃棄物の知見が豊富な「3Rアドバイザー」が、明日からカンタンに実践できる3Rの取組事例をご紹介します。

廃棄物に関するこんな課題はありませんか？

ごみの現状把握や周知ができていない



- ・委託業者に任せてしまっている
- ・社員や職員への分別周知に悩んでいる
- ・テナントへの協力依頼に悩んでいる

自社の取組を見直したい



- ・自社の取組レベルが知りたい
- ・他の事業所の取組例が気になる
- ・良い事例を教えてほしい

新しい取組を始めたい



- ・オフィスブラの削減に取組みたい
- ・3RやSDGs推進のため、新しい取組を始めたい

事業所内の3R・SDGsの推進に悩んでおり、具体的なアクションまで起こせていない……

3Rアドバイザーと一緒に解決、事業所における3R・SDGsの取組推進をサポートします！

3Rに関するアドバイス

1 現状の取組状況を把握

現状についてお話を伺い、現地確認のうえ、口頭で簡単なアドバイス。他の事業所での好事例も紹介。

アフターフォロー

2 継続したサポート

訪問後から概ね1年後に、改めて事業所への訪問やアンケート調査を実施。各種課題に対する解決策の提案やお取組状況を確認。

講習会の開催

3 事業所内の周知

分別周知の徹底のため、事業所内での講習会の開催について、ご要望に応じて対応可能。

TOKYO 3R診断ナビ 運用開始しました！

事業所の廃棄物発生量・再利用率・3Rの取組内容などを入力することで、自社の取組度合いを同業種・同規模の都内事業所と比較し、取組の強みや改善点を分かりやすく把握できるオンラインツールです。
また、取組の向上に繋がる改善策や優良事例の提示が受けられます。

診断の流れ

3 STEPで質問に回答

- ① 建物の概要の入力
- ② 廃棄物の発生量・再利用率の入力
- ③ 3Rの取り組み状況の回答

診断結果を確認

事業者の3R活動を 客観的な指標で診断・サポート

本診断は、都内事業者の皆様の廃棄物排出量や3R（リデュース・リユース・リサイクル）の取組状況、同業種・同規模のデータと比較・分析し、客観的に評価する無料のウェブツールです。データに基づいた自主的取組の推進にご活用ください。

※主な利用対象者は大規模建築物の建物管理者等です

無料診断をはじめよう

所要時間：最初約15分／通常20～25分

診断結果イメージを見る



データに基づく
アドバイスを
ご提案



利用登録は不要
無料でご利用可能です！

お問合せ

東京サーキュラーエコノミー推進センター

住所：東京都墨田区江東橋4-26-5東京トラフィック錦糸町ビル5階

TEL：03-6666-9253



サーキュラー・エコノミー への移行に向けて

東京サーキュラーエコノミー推進センターの取組紹介

東京都は、2050年ゼロエミッションの実現に向け、2025年3月に「ゼロエミッション東京戦略」をアップデートし、「ゼロエミッション東京戦略 Beyond カーボンハーフ」を策定しました。

東京都は、本戦略に基づき、2035年までに温室効果ガスの排出量を60%以上削減（2000年比）する新たな目標と、その達成に向けて、再生可能エネルギーの基幹エネルギー化、ゼロエミッションビルの拡大、水素エネルギーの普及拡大、サーキュラー・エコノミーへの移行等の政策分野において、31の個別目標を設定し、実行性ある施策を推進しています。

また、2026年3月には、「東京都資源循環・廃棄物処理計画」を改定し、計画を貫く視点として、サーキュラー・エコノミーへの移行促進に向けた静脈分野からのアプローチを随所に位置付け、仕組みづくり・支援の両面からの施策展開や、都民・事業者の行動変容の促進等に向けた取組を盛り込んでいます。

本冊子は、令和8年度において、東京都と東京サーキュラーエコノミー推進センター（以下「T-CEC」という。）※が取り組む都民・事業者への支援策や普及啓発事業について取りまとめたものです。

※ T-CECは、公益財団法人 東京都環境公社に設置された組織で、都民・事業者に向けた情報発信や事業間マッチング等多面的な支援を展開し、サーキュラー・エコノミーへの移行を推進しています。



東京都環境局



東京のくらしから、地球の明日をつくっていく

公益財団法人 東京都環境公社

サーキュラー・エコノミーへの移行に向けた補助事業

サーキュラー・エコノミーの実現に向けた社会実装化事業

地域密着型のサーキュラー・エコノミーの実現を目指す事業者等を公募し、その取組の社会実装化を支援します。

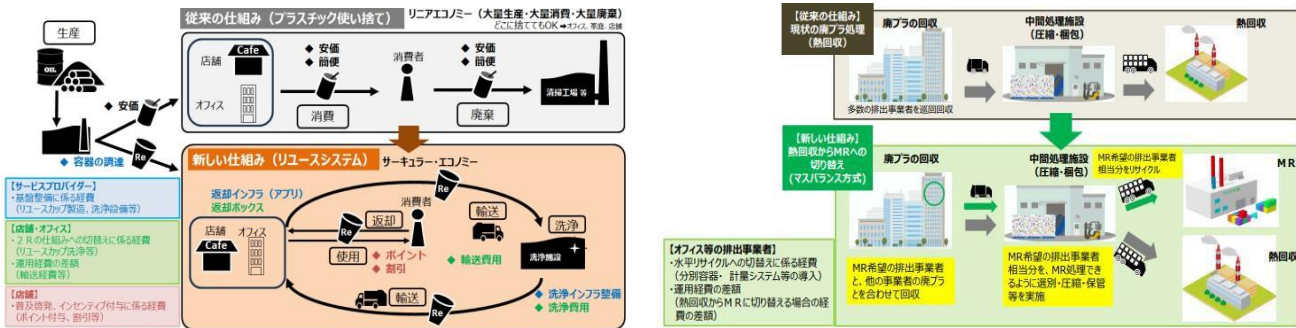
- **受付期間** 令和8年6月1日から令和8年6月30日まで
- **補助対象**
 - ・ 都内におけるサーキュラー・エコノミーの実現に繋がるプラスチックや食品ロス等の削減に係る取組のうち、地域でのモデル事業や実証事業、関連する調査や情報発信等を行うもの
 - ・ 原則として、複数の事業者・団体等が連携して取り組むもの

サーキュラー・エコノミーへの移行推進

プラスチック資源循環に向けた2Rビジネス・水平リサイクルの社会実装・事業拡大に取り組む事業者等を支援します。

- **受付期間** 令和7年4月1日から令和9年3月31日まで
- **補助対象**
 - ・ 2 Rビジネス又は水平リサイクルに関する取組について、社会実装するために事業に着手するもの又は事業の拡大を行うもの
 - ・ 複数の事業者・団体等が連携して取り組むもの

補助事業イメージ



交通結節点・公共施設へのリサイクルステーションの整備事業

主要駅等の交通結節点や公共施設におけるリサイクルステーションの整備費・運用費を補助します。

- **受付期間** 令和8年4月1日から令和11年3月31日まで
- **補助対象**
 - ・ 都内区市町村及び公共交通関連事業者等
 - ・ 上記に掲げる者と、補助対象設備に係るリース等の契約を締結したリース事業者

外食ロス削減推進事業

外食産業における食品ロスの削減に向け、飲食店等と連携して利用客に食べ残しゼロを促すキャンペーンを実施するとともに、飲食店等に対して食品ロス削減のノウハウを提供するテキストを活用し、講習会を実施します。

キャンペーン

「江戸のこころで 食品ロスゼロ！キャンペーン」
都民やインバウンドを含めた観光客の方々に食べ残しゼロを呼びかけています。

R7年度実績 期間：令和7年10月30日～12月31日 実施店舗：1,054店舗
R8年度実施 期間：令和8年10月30日～12月31日

講習会

外食産業向け食品ロス削減対策講習会
外食産業における食品ロス削減を推進するため、食品ロス削減の基礎知識や発生過程別の対策、先進的取組事例を紹介しています。

TOKYO海ごみゼロアクション

東京の海に新たなプラスチックごみを流出させないよう、東京の海ごみ問題を都民に広く啓発するとともに、海ごみや河川ごみの清掃活動への参加につなげる「TOKYO海ごみゼロアクション」を実施しています。



TOKYO海ごみゼロアクションWebサイト



小笠原での清掃活動の様子

令和7年度採択事業例

業務用洗剤等のプラスチック製容器のリユースに向けた取組

従来使い捨てられてきたプラ製容器をリユースできるよう再開発
環境負荷・廃棄物処理コストを低減

情報発信・相談マッチング事業

公式Webサイト：TOKYOサーキュラーエコノミーアクション

先進的な資源の循環利用の取組等、事業者等の行動変容を促す情報を発信しています。



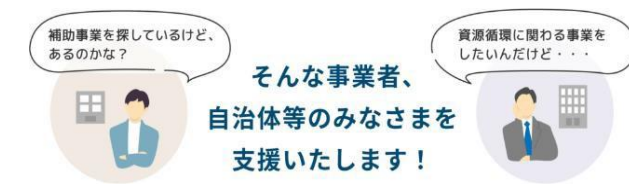
▲東京都のプロジェクト紹介



▲事業者の取組紹介

相談・マッチング事業

サーキュラー・エコノミーへの移行に向けて、都民・事業者等から資源の循環利用に関する相談やマッチングの依頼をワンストップで受け付け、取組のサポートを行っています。



R7年度実績：相談91件（うちマッチング21件）

サーキュラーエコノミーサロン

サーキュラー・エコノミーに資する新ビジネス創出のための学び、ネットワーキングの場づくりを目的として、“サーキュラーエコノミーサロン”を開催しています。

2025年度 開催テーマ	
第1回	サーキュラー・エコノミーの社会実装化及び移行推進についての取組交流会
第2回	サーキュラーエコノミーに取り組んでいる自治体の情報交換、事業者団体を含めた意見交換会
第3回	最新サーキュラービジネス交流会
第4回	プラスチック分別収集33条(商品化)認定に関する情報交換交流会
第5回	食品リサイクルの取組の推進に向けた情報交換会

シンポジウム

サーキュラー・エコノミーに向けた機運を高めていくため、有識者による講演や事業者の先行事例等を動画に取りまとめ発信しています。
R7年度テーマ：「家庭から出るプラスチック・リサイクル推進に向けて」

内容	登壇者・登壇企業(敬称略)
開会あいさつ	木村真弘 東京都環境局資源循環推進計画担当部長
【基調講演】 -家庭から排出されるプラスチックのリデュース・リユース・リサイクルの取り組みの方向性-	田崎智宏様 国立研究開発法人国立環境研究所
<事例紹介1)> クリーニング店の「ビニールカバー」の巻～ビニールカバーがエアクションに！～	株式会社白洋舎 レコテック株式会社
<事例紹介2)> 1人あたりのごみ量が最も少ない「日野市」の巻～多摩地区ワーストからNo.1へ～	日野市
<事例紹介3)> 一番多い粗大ごみ「布団」の巻～ごみから資源に新たなチャレンジ～	東京都葛飾区 株式会社yuni
<事例紹介4)> リサイクルの優等生「衣装ケース」の巻～老舗企業のタグによるマテリアルリサイクル～	全日本プラスチックリサイクル工業会 株式会社トベ商事
東京都からのお知らせ	荒井和誠 東京都環境局資源循環計画担当課長

公式X

補助事業の受付開始や事業者による取組事例など、リアルタイムで情報を受け取ることができます。



ぜひフォローをお願いいたします！



資料：画像提供：プレス資料
「【玉川高島屋S・C】SDGsに向けた活動 循環先を選択できる回収BOXや廃棄物を可視化できるごみ分別施設を設置～循環型社会実現に向けた“参加型”の取り組みを推進～」2024年 東神開発株式会社 ※左から2つ目のボックス（青）がPASSTO



サロンの開催風景

